

# 平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	河川環境整備						継続				
コード	71	-	23	-	01	-	00	予算事業名	河川環境整備		
担当部署	建設部		河川課		治水担当		予算事業コード	会計 10	款 08	項 03	目 01

## 1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	根拠となる法令、条例等	河川法
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり	個別計画等の名称	なし
施策	4	水辺と森林の整備		
細施策	↑	河川空間の活用		

## 2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	河川の堤防を強化するとともに、堤防及びその周辺の緑化を推進し、良好な水辺空間の形成を図ることにより、市民に対し憩いの場を提供する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	国土交通省との共同事業で、堤防の築堤を国で、用地買収、植栽工事、植栽管理、水路整備を市で行う。入間川の初雁橋から釘無橋までの区間の内、小ヶ谷地区、山田地区、上寺山地区、鯨井地区(4地区1,890m)について、平成3年度より桜づつみモデル事業として行われており、整備が完了している。 総事業費(H4~H23)1,104,607,211(内:建設費等886,376,021、維持管理費等218,231,190)

## 3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		14,500	14,500	14,500	14,500	13,775	
事業費	A	13,377	12,768	12,765	13,659	13,775	13,775
	B	3,404	3,404	3,034	2,072	2,220	2,220
総コスト(C=A+B)		16,781	16,172	15,799	15,731	15,995	15,995
正規職員(1年間の従事人数)		0.46人	0.46人	0.41人	0.28人	0.30人	0.30人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)		16,781	16,172	15,799	15,731	15,995	15,995

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額  
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

## 4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	用地取得率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	買収済面積/買収計画面積*100
成果	植栽管理率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	植栽管理面積/植栽済面積*100
中心指標の考え方		本事業は、事業目的の達成度をはかる本来の成果指標の測定は困難なため、代理成果指標を設定する。					
指標に基づく評価		現時点での計画面積はすべて整備が完了しており、維持管理も適切に行われており、市民に憩いの場を提供している。					

## 5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	必要性に課題
<p>今後は、新規箇所候補について、環境整備の必要性・利用の考え方・維持管理などの検討を行う。</p>	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	「桜づつみモデル事業」全国で実施され、県内では、<戸田桜づつみ> 戸田ポートコースと荒川河川敷に挟まれた堤に沿って戸田公園から戸田競艇場近くまで続いている。
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	「桜づつみモデル事業」として事業開始から約20年の期間が経過し、一定の成果がある事から、事業を縮小しても影響は少ないと考える。しかし、継続的に行っている4箇所の植栽管理については、河川環境の保全と良好な水辺空間の確保のため必要である。
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	改善(見直し)
<p>国土交通省が「かわまちづくり支援制度」にシフトしていることから、本事業に今後、新規の計画はないものとする。しかしながら、整備済の桜づつみについては植栽管理が必要なため、別事業(河川管理)に統合できないか検討する。</p>	